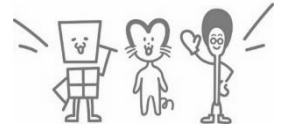


公共施設の再編等に関するアンケート（情報編）

町田市では、公共施設の健全な維持管理と、まちの魅力向上のため、公共施設の再編を推進しています。公共施設のより良いかたちの実現のため、アンケートへのご協力をよろしくお願ひします。

※WEB 回答はこちらから

【URL】
<http://www.city.machida.tokyo.jp/s-hisei/gyousei/keiei/kokyoshisetsumanagement/minnadekankaeruba.html>

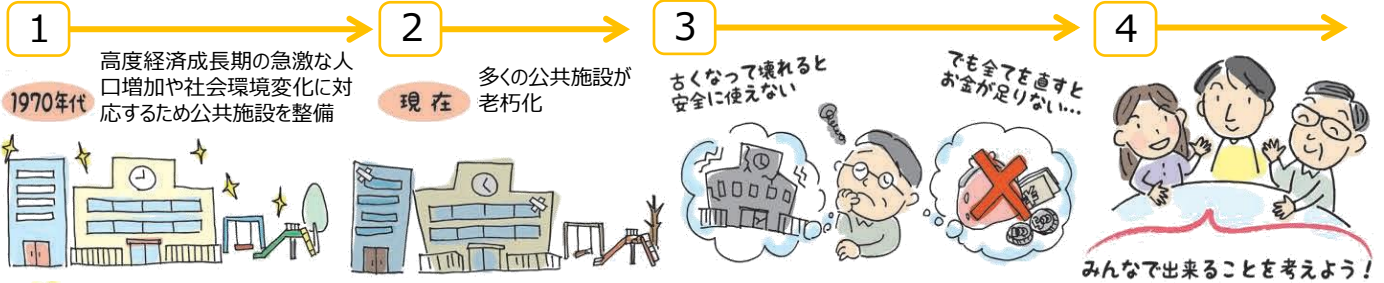


公共施設見直しキャラクター
 まちロボ まちちゃん まちおさん

公共施設の再編について

公共施設の課題

町田市の公共施設の半数以上が築 30 年を超え、維持管理費が増え続けています。一方、財政状況が厳しさを増す中でも、必要な公共サービスを維持・向上させていくことが求められています。



公共施設の再編の取り組み

町田市では、公共施設の再編を新たな価値創造のチャンスと捉え、健全に維持管理できる総量まで建物を減らしながらも、まちの魅力さをさらに向上し、新たな価値を生み出す「公共施設・公共空間のより良いかたち」の実現を目指し、公共施設の再編に取り組んでいます。

▶再編を考えたときの4つの基本方針

- 建物の総量を減らす
- 市民・民間事業者など様々な主体と連携する
- 建物にかかるコストを減らす
- 既存の施設や土地を有効活用する



▶これまでの取り組み例（町田市役所 市庁舎）

本庁舎、中町分庁舎、森野分庁舎等 6 つの庁舎を 1 つに集約し、2012 年度にオープン。行政窓口のワンストップロー化など、市民の利便性向上を図りました。



▶今後の取り組み（5つの再編プロジェクト）

町田駅周辺には、改修や建替えの時期を迎えている公共施設が多くあり、今後再編を進めていきます。

- **プロジェクトA 2つの美術館と芹ヶ谷公園の一体的整備**
 市立博物館の収蔵品の一部や活動を受け継ぐ（仮称）国際工芸美術館を、芹ヶ谷公園、国際版画美術館と一体的に整備します。また、2 つの美術館を含む公園全体の一体的な管理運営手法を検討・事業者を選定します。
- **プロジェクトB 2つの保健施設の集約**
 健康福祉会館と保健所中町庁舎を集約化し、民間とのコラボレーションにより建替えます。
- **プロジェクトC 教育センターの複合化**
 教育センターと子ども発達センター等子ども関連施設を複合化し、民間とのコラボレーションにより建替えます。
- **プロジェクトD 産業支援施設の複合化**
 町田新産業創造センター、町田商工会議所、町田市勤労者福祉サービスセンターの産業支援施設を複合化し、町田市の産業振興を牽引する拠点を目指します。
- **プロジェクトE 図書館の集約**
 中央図書館とさるびあ図書館が持つ機能を整理し集約します。集約方法の検討にあたっては、移動図書館の運行、学校図書館や団体の支援など特徴的な役割・機能に留意します。

※各プロジェクトの詳細はこちら



【URL】
<http://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/gyousei/keiei/kokyoshisetsumanagement/kakusyukeikaku/iken-bosyu.files/saihenkousou.pdf>

裏面もご覧ください▶

学校跡地の活用等について

▶まちだの新たな学校づくり

少子化によりクラス替えができない学校がでてきていることや、深刻な学校施設の老朽化などの課題に対応するため、学校統合を含む通学区域の見直しを契機として、より良い教育環境を目指した計画※を策定しました。保護者や地域住民、みんなで協力して新たな学校をつくっていきます。



少子化と学校の
老朽化が進む



新たな学校づくり
推進計画をつけた



みんなでつろう！
新たな学校

※計画はこちらから

【URL】
<https://aka.ms/o0Ukef>><https://www.city.machida.tokyo.jp/kodomo/kyoiku/keikakutou/kibohaiti/gakkodukuri-plan/suisinkeikaku202105.html>



検討中の学校	
町田第三小学校	
本町田東小学校	○
本町田小学校	
南第二小学校	○
南成瀬小学校	
鶴川第二小学校	○
鶴川第三小学校（一部）	
鶴川第三小学校（一部）	
鶴川第四小学校	○
南第一小学校	○

※ ○は学校候補地

▶学校跡地の活用について

今後、新たな学校づくりに伴う学校統合により、市内の小・中学校の一部が閉校となります。

2028年度 本町田小学校、町田第三小学校、南成瀬小学校

2040年度までに 計 19校分



跡地全部で東京ドーム
約7個分（約32ha）
もの広さになるんだって！

▶学校跡地等のこれまでの活用事例

学校跡地等は、これまでも様々な活用がされています。

- 旧緑ヶ丘小学校用地
→消防署の移転先として貸付
・グラウンドとして活用
- 旧本町田中学校・旧本町田西小学校用地
→桜美林大学の新たなキャンパス用地として貸付
- 旧成瀬あおぞら会館用地
→売却



民間とのコラボレーションを含む様々な
活用方法によって、新たな価値や魅力が
生まれているね！



各種スポーツに利用できる緑ヶ丘グラウンド

💡 学校跡地の活用に関する基本的な考え方

学校は、授業や部活動のほかにも、災害時には避難所となるなど、地域の活動にも使われています。そのため、以下の基本的な考え方に基づきながら、それぞれの地域の特性に応じた検討を行います。

- 地域にとって必要な機能は、その地域における統合新設校や、周辺施設等へ引き継ぎます。ただし、防災機能など、引き継ぐことが難しい機能があった場合には、学校の跡地で引き継ぎます。
- 校舎などの建物は原則として取り壊します。
- 「市有財産の戦略的活用に関する基本方針」に基づき、民間事業者等への貸付・売却なども含めた、効果的な利活用を図ります。

特に防災機能は、
跡地も含めて
その地域にとって
最適な場所に
引き継いでいくよ！



アンケート（回答編）にお進みください▶